

## 第十二章 會計

### 第一節 總說

鹽專賣ハ臨時事件費支辨ノ目的ヲ以テ制定セラレタルモノニシテ之カ取扱機關トシテ鹽務局ヲ設置シ主稅局ノ管理ニ屬セシメ其ノ會計ハ一般會計法規ニ依ルコトト爲シタリ  
鹽專賣ノ施行ハ明治三十八年六月ニシテ同年四月ヨリ鹽務局ヲ設置シ以來二箇年半ヲ經過シ同四十年十月ニ至リ煙草專賣及樟腦樟腦油專賣ト共ニ專賣局ノ管掌ニ移シタルヲ以テ歲入歲出其ノ他ニ關スル事務繼承方ニ付左ノ如ク達セラレタリ

大藏大臣達往第一四五六三號（明治四十年九月二十六日）

今般勅令第三百四號ヲ以テ專賣局官制公布ニ付テハ歲入歲出其ノ他ニ關スル事務繼承方等左ノ通心得ヘシ

- 一 勅令第三百四號施行前日ニ於ケル樟腦事務局又ハ鹽務局ニ屬スル歲入ノ調定額、收入未濟額、不納缺損額、收入未濟額、歲出ノ豫算額、仕拂命令發行濟額、豫算殘額及支出未濟ノ債務並定額戻入未濟ノ債權ハ右勅令施行後橫濱鹽務局ニ屬スルモノハ專賣局名古屋收納所ニ於テ宇都宮鹽務局ニ屬スルモノハ專賣局水戸收納所ニ於テ其ノ他ハ樟腦事務局若ハ鹽務局所在地ヲ管轄スル當該專賣局收納所（池田ヲ除ク）ニ於テ之ヲ繼承スヘシ
- 二 前項ニ依リ繼承シタル歲入ノ調定額、收入未濟額、不納缺損額、收入未濟額ニシテ從前ノ管轄區域變更ノ結果他ノ專賣局收納所所管トナリシ出張所若ハ專賣局販賣所ニ屬スルモノハ更ニ之ヲ其ノ所屬專賣局收納所若ハ專賣局販賣所ニ引繼ノ手續ヲ爲スヘシ
- 三 樟腦事務局又ハ鹽務局（赤穂、味野、尾道、三田尻、阪出、撫養ヲ除ク）ノ主任收入官吏ハ勅令第三百四號施行ノ前日ヲ以テ打切り明治二十三年四月大藏省訓令第五十四號ニ依リ當該專賣局收納所ノ主任收入官吏ニ事務引繼其ノ他ノ手續ヲ爲スヘシ
- 四 樟腦事務局又ハ鹽務局（赤穂、味野、尾道、三田尻、阪出、撫養ヲ除ク）ニ屬スル樟腦、樟腦油、鹽及普通物品ノ出納ハ勅令第三百四號施行ノ前日ヲ以テ打切り樟腦、樟腦油及鹽ハ其ノ數量（區別ヲ要スルモノハ之ヲ區分シ）ヲ其ノ他ノ物品ハ品目、數量ヲ詳記シタル目錄書ヲ各別ニ調製シ當該專賣局收納所（從前ノ管轄區域變更ニ依リ他ノ專賣局收納所所管トナリタル出張所）分ハ其ノ所屬收納所ノ手續ハ當該專賣局收納所長若ハ專賣販賣所長ト協議スヘシ但シ現品回送中又ハ購入、賣却等ノ物品ニシテ處分終了セサルモノハ之ニ對スル關係書類ヲ取纏メ引繼ヲ爲スヘシ
- 五 赤穂、味野、尾道、三田尻、阪出、撫養鹽務局ニ屬スル出納官吏ハ勅令第三百四號施行後繼テ當該專賣局收納所出納官吏トシテ事務ヲ取扱ヒ別ニ交替ノ手續ヲ要セス但シ專賣局收納所長ニ於テ當該金庫（取扱廳變更ノ通知ヲ爲スヘシ）
- 六 樟腦事務局又ハ鹽務局ニ屬スル諸帳簿、書類及官有財産ハ勅令第三百四號施行後當該專賣局收納所（從前ノ管轄區域變更ニ依リ他ノ專賣局收納所所管トナリタル出張所）分ハ其ノ所屬收納所若ハ專賣局販賣所ニ於テ之ヲ繼承スヘシ但シ神戸樟腦事務局ニ屬スル樟腦、樟腦油ノ製造ニ關スル事務及官有財産ハ專賣局神戸製造所ニ於テ之ヲ繼承スヘシ

七 糧腦事務局又ハ鹽務局ニ保管中ノ金庫保管證書及供託受領證アルトキハ當該專賣局收納所(從前ノ管轄區域變更ニ依リ他ノ專賣局收納所所屬トナ

リタル出張所ノ分ハ其ノ所屬收納所)若ハ專賣局販賣所ニ於テ之ヲ繼承シ當該金庫(取扱廳變更ノ通知ヲ爲スヘシ)

八 前各項ニ依リ繼承シタル專賣局收納所ハ總テ之ヲ其ノ廳ノ計算ニ編入スヘシ但シ第一項ニ依ル歳出ノ豫算額、仕拂命令發行濟額、豫算殘額ハ仕拂金庫ノ異ナル毎ニ區分整理シ又繼承後定額戻入ヲ要スルトキハ最前仕拂命令ヲ發シタル金庫ノ取扱ト爲スヘシ

九 前項但書ノ豫算殘額各項目金額ハ各款別ニ報告書ヲ調製シ來ル十月七日以内ニ專賣局へ提出スヘシ又繼承後定額戻入ヲ爲シタル金額ハ其ノ時々之ヲ報告スヘシ

尋テ明治四十一年度ヨリハ煙草作業會計ニ併セ特別會計ニ移換スルニ至リ專賣局作業會計規則ヲ左ノ通改正セラレタリ

勅令第五十四號 (明治四十一年三月二十九日)

專賣局作業會計規則中左ノ通改正ス

第三條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後所管大臣之ヲ專賣局長官及他ノ官吏ニ命シテ執行セシム

第四條 歳出豫算ヲ執行スル官吏ハ歳出ヲ支出スル爲金庫ニ向テ仕拂請求書ヲ發スヘシ

第五條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度十一月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

歳入ヲ徵收スル官吏ハ會計検査院ニ證明ノ爲毎年度歳入徵收額計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ其ノ歳入事務管理廳ニ送付シ歳入事務管理廳ハ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

仕拂請求書ヲ發スル官吏ハ會計検査院ニ證明ノ爲毎月支出ノ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ其ノ所管大臣ニ送付シ所管大臣ハ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

前二項ノ計算書ハ特ニ歳入事務管理廳又ハ所管大臣ヨリ委任ヲ受ケタル官吏ヨリ直ニ會計検査院ニ送付セシムルコトヲ得

第六條 仕拂請求書ヲ發スル官吏ハ煙草又ハ鹽ノ賠償及購買費鹽ノ交付金樟腦又ハ樟腦油ノ

補償金、荷造費、職工人夫ニ給スル諸費、外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費並支所ノ經費ニ限り所屬ノ出納官吏ニ現金ノ前渡ヲ爲スコトヲ得

第九條中「煙草」ヲ「煙草、鹽、樟腦及樟腦油」ニ改ム

第十四條、第二十三條、第二十四條及第二十六條中「煙草專賣局」ヲ「專賣局」ニ改ム

第十七條中第三號以下ヲ左ノ如ク改ム

三 煙草、鹽、樟腦、樟腦油及煙草越幾斯ハ賠償補償若ハ購入價格又ハ生產費ニ依ル但シ其ノ沒收等ニ係ルモノハ各其ノ比準價格ニ依ル

四 材料素品及機械運轉用品ハ購入價格又ハ生產費ニ依ル

第二十一條 毎年度ノ終ニ現在スル煙草、鹽、樟腦、樟腦油又ハ煙草越幾斯ニシテ毀損又ハ變質ニ因リ其ノ價格減少シタルトキハ現時ノ賠償補償若ハ購入價格又ハ生產費ニ比準シテ之ヲ改定スヘシ

第二十一條ノ二中「葉煙草以外」ヲ削ル

第二十一條ノ三 材料素品、機械ノ運轉用品及其ノ他ノ物品ニシテ不用ニ歸シタルモノハ總テ損失トシ不用品ニ組入レ之ヲ賣拂フヘシ

第二十一條ノ四ヲ削ル

第二十二條中「總既製品ノ價格、葉煙草以外」ヲ「總製造煙草ノ價格、總鹽ノ價格、總樟腦及樟腦油ノ價格、總煙草越幾斯ノ價格」ニ改メ「賣拂代價收入未濟物品ノ價格」ノ次ニ「消費シタル葉煙草ノ價格、消費シタル樟腦及樟腦油ノ價格」ヲ加フ

#### 附 則

本令ハ明治四十一年度ヨリ之ヲ施行ス

法律第一七號 (明治二十三年三月十八日)

作業會計法

第一條 左ノ作業所ハ其事業ヲ經營スル爲メ固定資本、据置運轉資本ヲ置キ作業上ノ收入及其ノ所屬雜收入ハ作業ノ費用ニ充ツルコトヲ許シ特別ノ會計ヲ立テシム

第一 造幣局

第二 印刷局

第三 製鐵所

第四 電信燈臺用品製造所

第五 海軍採炭所

第六 專賣局

第二條 各作業所ニ於テ從來使用シ及將來増加スル所ノ土地、建物、軌道其ノ他築造道路、船舶、機械、永遠保存品其ノ他重要ナル器具ヲ以テ固定資本トナシ

從來ノ營業資本額ヲ以テ据置運轉資本トナス

製鐵所据置運轉資本ハ四百五十萬圓トシ漸次一般會計ヨリ繰入ス

海軍採炭所据置運轉資本ハ十萬圓トシ漸次一般會計ヨリ繰入ス

專賣局据置運轉資本ハ明治三十三年四月一日現在ノ葉煙草專賣資金ヲ以テ之ニ充テ漸次増加シテ八百萬圓トス

第三條 各作業所特別會計ノ歳出額ハ豫算定額内ニ於テ實際ノ歳入及据置運轉資本ノ合計額ヲ超過スルヲ許サス

第四條 固定資本ノ維持修理及補充ハ作業所特別會計ノ歳入ヲ以テ支辨スヘシ

第五條 作業所ノ純益及固定資本ニ屬スル物件ノ賣拂代金ハ總テ一般ノ歳入ニ編入スヘシ

第六條 政府ハ毎年各作業所特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 各作業所特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 本法ハ明治二十三年度ヨリ施行ス其ノ帝國議會ニ關涉スルモノハ帝國議會開會後ノ會計年度ヨリ施行ス

勅令第二十號 (明治三十三年二月二日)

專賣局作業會計規則

第一條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度八月三十一日迄ニ各省豫定經費要求書ト俱ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條 所管大臣ハ其ノ年三月三十一日ニ終リタル會計年度ノ受拂勘定及固定資本價格増減表ヲ調製シ歳入歳出ノ豫定計算書ニ添附スヘシ

第三條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後所管大臣之ヲ專賣局長官及他ノ官吏ニ命シテ執行セシムヘシ

第四條 歳出豫算ヲ執行スル官吏ハ歳出ヲ支出スル爲メ金庫ニ向テ仕拂請求書ヲ發スヘシ

第五條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度十一月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

歳入ヲ徵收スル官吏ハ會計検査院ニ證明ノ爲メ毎年度歳入徵收額計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ其ノ歳入事務管理廳ニ送付シ歳入事務管理廳ハ之ヲ會計

検査院ニ送付スヘシ

仕拂請求書ヲ發スル官吏ハ會計検査院ニ證明ノ爲毎月支出ノ計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ其ノ所管大臣ニ送付シ所管大臣ハ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

前二項ノ計算書ハ特ニ歳入事務管理廳又ハ所管大臣ヨリ委任ヲ受ケタル官吏ヨリ直ニ會計検査院ニ送付セシムルコトヲ得

第六條 仕拂請求書ヲ發スル官吏ハ煙草又ハ鹽ノ賠償及購買費鹽ノ交付金、糧腦又ハ糧腦油ノ補償金、荷造費、職工人夫ニ給スル諸費、外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費並支所ノ經費ニ限リ所屬ノ出納官吏ニ現金ノ前渡ヲ爲スコトヲ得

第七條 各年度ノ歳出ニ屬スル仕拂請求書ヲ發スルハ毎年度三月三十一日限トス

仕拂請求書發行及取扱ノ手續ハ仕拂命令ノ例ニ依ル

第八條 各年度ニ屬スル定額戻入ヲ爲スハ毎年度三月三十一日限トス

第九條 毎年度内ニ收入ヲ爲スヘキ權利ヲ得テ當該年度内ニ收入済トナラサルモノハ收入未済トシテ順次翌年度ニ繰越シ現ニ收入ヲ爲シタル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ但シ煙草、鹽、糧腦及糧腦油賣拂代金ニ限リ翌年度七月三十一日迄ハ當該年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

第十條 毎年度内ニ仕拂ヲ爲スヘキ義務ヲ生シ當該年度内ニ仕拂請求書ヲ發セサルモノハ支出未済トシテ順次翌年度ニ繰越シ當該年度經過後五箇年内ハ支出ノ請求アル毎ニ仕拂請求書ヲ發スヘシ但シ支出未済ノ繰越額ハ支出済額ト合シテ豫算定額ヲ超過スルヲ得ス

第十一條 毎年度内ニ於テ仕拂請求書ヲ發シ金庫ニ於テ仕拂ノ請求ヲ受ケサルモノハ仕拂未済トシテ之ニ相當スル資金ヲ翌年度ニ繰越シ仕拂ノ請求アル毎ニ仕拂ヲ爲スヘシ

第十二條 前條ノ仕拂未済金ハ會計法第十八條ニ依リ仕拂義務ヲ免レタルトキハ其ノ期滿免除トナリタル年度ノ一般ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第十三條 仕拂請求書ノ執行ニ關シテハ仕拂命令執行ノ例ニ依ル

第十四條 歳入ヲ徵收スル官吏ハ其ノ徵收簿ノ結果ニヨリ毎月徵收報告書ヲ調製シ書類ヲ添ヘ翌月十五日迄ニ專賣局ニ送付スヘシ

專賣局ハ作業全部ノ毎月徵收總報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ其ノ翌月中ニ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十五條 金庫出納役ハ毎月仕拂請求書受領報告書ヲ調製シ其ノ翌月中ニ大藏省ニ送付スヘシ

第十六條 資本ハ總テ價格ヲ付シテ計算スヘシ

第十七條 資本ノ價格ハ左ノ方法ニ依テ之ヲ定ム

一 土地ハ近隣地ノ賣買價格五箇年間ノ平均ニ依リ近隣ニ比較スヘキ相當ノ土地ヲキトキハ五人以上ノ評價人ヲ定メ其ノ評定價格ノ平均ニ依ル但シ新

ニ購入又ハ交換シタルトキハ購入價格又ハ交換價格ニ依ル

二 建造物及其ノ他ノ工作物機械、器具及其ノ他ノ物品ハ建築費又ハ購入價格ニ依ル建築費又ハ購入價格ノ不明ナルモノハ物件ノ輕重ニヨリ二人以上ノ評價人ヲ定メ其ノ評定價格ノ平均ニ依ル

三 煙草、鹽、糧腦、糧腦油及煙草越幾斯ハ賠償、補償若クハ購入價格又ハ生産費ニ依ル但シ其ノ没收等ニ係ルモノハ各其ノ比準價格ニ依ル

四 材料素品及機械運轉用品ハ購入價格又ハ生産費ニ依ル

第十八條 土地ノ價格ハ前條ノ方法ニ依リ每五年ニ之ヲ改定スヘシ

第十九條 建造物及其ノ他ノ工作物機械、器具及其ノ他ノ物品ハ永遠保存品ヲ除キ總テ保存期限ヲ定メ其ノ期限ニ應シテ毎年價格ヲ遞減スヘシ

前項中固定資本ニ屬スル物件ヲ修理シタルトキハ其ノ修理費ヲ以テ現年ノ價格ニ加ヘ再ヒ保存年限ニ應シテ價格ヲ遞減スヘシ

第十二章 會計

一五八七

第二十條 前條ノ物件ヲ修理シタルトキハ保存年限ヲ改定シテ之ヲ延フルコトヲ得

第二十一條 毎年度ノ終ニ現在スル煙草、鹽、樟腦、樟腦油又ハ煙草越幾斯ニシテ毀損又ハ變質ニ因リ其ノ價格減少シタルトキハ現時ノ賠償、補償若ハ購入價格又ハ生産費ニ比準シテ之ヲ改定スヘシ

第二十二條 毎年度ノ終リニ現在スル材料素品及機械ノ運轉用品ニシテ市價ノ低落シタルトキハ現時ノ市價ニ依リ其ノ價格ヲ改定スヘシ

前項ノ物品ニシテ毀損又ハ變質ニ因リ其ノ價格減少シタルトキハ其ノ割合ニ應ジテ價格ヲ改定スヘシ

第二十三條 材料素品、機械ノ運轉用品及其ノ他ノ物品ニシテ不用ニ歸シタルモノハ總テ損失トシ不用品ニ組入レ之ヲ賣拂フヘシ

第二十四條 歲入ノ收入濟額、收入未濟額、据置運轉資本ニ屬スル現金ノ持越高、總葉煙草ノ價格、總製造煙草ノ價格、總鹽ノ價格、總樟腦及樟腦油ノ價格、總煙草越幾斯ノ價格、總材料素品ノ價格、總機械運轉用品ノ價格、總備品ノ價格ヲ以テ受入トシ歲出ノ支出濟額、支出未濟額、据置運轉資本額、賣拂代價收入濟物品ノ價格、賣拂代價收入未濟物品ノ價格、消費シタル葉煙草ノ價格、消費シタル樟腦及樟腦油ノ價格、消費シタル材料素品ノ價格、消費シタル機械運轉用品ノ價格、損失ニ歸シタル物品ノ價格ヲ以テ拂出トシ受入ノ總額ヨリ拂出ノ總額ヲ控除シ殘餘アルトキハ作業ノ益金トシテ其ノ事業ヲ營ミタル年度ノ一般ノ歲入ニ納付スヘシ

第二十五條 大藏省ハ專賣局作業會計ノ主計簿ヲ備ヘ歲入ノ豫算額、確定額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額、歲出ノ豫算額、豫算決定後增加額、支出濟額、翌年度繰越額、殘額ヲ登記スヘシ

第二十六條 專賣局ハ日記簿、原簿、補助簿ヲ備ヘ其ノ事業ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スヘシ

第二十七條 歲入ヲ徵收スル官吏ハ徵收簿ヲ備ヘ歲入ノ種類ヲ區分シ確定額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額ヲ登記スヘシ

第二十八條 專賣局ハ歲入簿ヲ備ヘ歲入ノ種類ヲ區分シ歲入ノ豫算額、確定額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額ヲ登記スヘシ

第二十九條 金庫出納役ハ支出簿ヲ備ヘ歲出豫算額、仕拂請求書受領濟額ヲ登記スヘシ

第三十條 此ノ規則ニ規定セサルモノハ總テ會計規則ノ各條項ヲ適用ス

本令ハ明治三十三年度ヨリ施行ス

鹽及樟腦專賣ヲ特別會計ニ移換セシヲ以テ特別會計所屬資本物品ヲ増加シ自然据置運轉資本ニ不足ヲ生スルニ至リタリ依テ現在ノ融通證券發行制限額ヲ増加スルコトトシ左ノ通改正セラレタリ

法律第十二號 (明治四十一年三月十三日)

明治三十八年法律第十七號中左ノ通改正ス

第一條中「煙草專賣局」ヲ「專賣局」ニ「千六百萬圓」ヲ「二千萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

法律第十七號 (明治三十八年二月十六日)

第一條 專賣局及製鐵所ノ据置運轉資本ニ不足ヲ生シタルトキハ大藏大臣ハ融通證券ノ發行ニ依リ一時之ヲ補足スルコトヲ得但シ其ノ金額ハ專賣局ニ在リテハ二千万圓、製鐵所ニ在リテハ千二百萬圓ヲ超過スルコトヲ得ス

第二條 前條ノ融通證券ハ遅クトモ翌年度ニ於テ之ヲ償還スヘシ

第三條 本法ニ依リテ發行スル融通證券ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外大藏省證券條例ヲ準用ス但シ大藏省證券條例第四條第一項ハ此限ニ在ラス

### 右作業會計規則ノ改正ニ伴ヒ其ノ經理方ニ關シ左ノ通牒ヲ發シタリ

專賣局計理部長依命通牒丙第二四四九號 (明治四十一年四月二日)

專賣局作業會計規則中改正ニ伴ヒ諸規定改正相成候處經理ニ關スル事項左ノ通御了知相成度 右依命

- 一 歳入ヲ徵收セムトスルトキハ鹽賣拂代ニシテ口頭告知ヲ爲スヘキモノノ外ハ現金領收ニ係ルモノト否トフ問ハス總テ納入告知書ヲ發スヘキモノトス
- 二 鹽賣拂代ニシテ延納ノ分ハ從前ノ取扱ニ於テハ納期限前十五日ニ至リ納入告知書ヲ發付シ來リタル處規定改正後ニ在リテハ納期限前十五日ニ至リ俟タス確定ノ際直ニ納入告知書ヲ發スヘキモノトス
- 三 收入官吏ノ現金拂込ニ關シ專賣局作業歳入取扱規程第十二條ノ規定アルモ金額三百圓以上ニ在リテハ出納官吏現金取扱規則第十六條ニ依リ翌日限リ拂込ヲ爲スヘキハ無論トス
- 四 勅任俸給、委任俸給、作場費及第一豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキ費途ハ之ヲ他ニ流用スルヲ得サルハ勿論他ヨリモ之ニ流用スルコトヲ得ス
- 五 豫算ニ剩餘アレハ豫備金支出ヲ爲スコトヲ得ス豫備金支出ヲ爲シタル後豫算ニ剩餘ヲ生スルトキハ會計法第八條ニ依リ帝國議會ノ承諾ヲ要スル場合ニ差支ヘアリ故ニ豫備金補充科目ニ在リテハ豫算増配申請ノ際注意スヘキハ勿論專賣局作業費豫算經理規程第八條ノ剩餘報告ニハ特ニ意ヲ致シテ取扱ニ遺憾ナキヲ期スヘシ
- 六 支出未済トシテ繰越ヲ要スル分ニシテ四十一年度ニ於テ科目ノ異動アリタルモノハ其ノ經費ノ實質ニ依リ相當ノ科目ニ繰越シ之カ整理ヲ爲スヘキモノトス
- 七 四十一年度ノ歳出科目ニ於テ新ニ作場費ノ目ヲ設ケラレタルハ從來ノ工場費ノ範圍ヲ擴張シテ作業直接ノ費用ハ大部分此科目ニ屬セシメ以テ事務的經費トノ區分ヲ明ニセムトスルノ目的ニ出ツ
- 八 隨テ作場費ハ場所ヲ標準トシテ其ノ範圍ヲ定メタルモノニ非サルモ物品及職工人夫等ニ關スル經費ノ如キ概ネ左ノ場所ニ於テ要スルモノヲ包含ス  
イ 工場竝之ニ準スヘキ場所  
ロ 收納所、荷扱場、專賣物件及其ノ材料品ノ貯藏倉庫其ノ他之ニ準スヘキ場所
- 九 作場費ノ雜費ニ屬スル職工獎勵費ハ何等ノ指示ナキ官署ニ在リテハ之方適用ナキ儀ト了知アリタシ
- 十 明治三十二年二月九日大臣達第二九一號專賣局非常駐付人夫給料給與規程ハ明治四十一年度以降鹽、檀腦及檀腦油ヲ取扱フ各廳ニモ適用セラルヘキモノトス

會計移換ニ關スル整理方ハ左ノ通省議ヲ決定シ之ニ依リ取扱ハシメタリ

大藏省議決定（明治四十一年五月七日）

今般專賣事業統一ノ結果鹽及樟腦、樟腦油專賣ハ明治四十一年度以降專賣局作業會計ニ移サレタルヲ以テ歲入歲出ニ關スル事務整理方ニ付左ノ通省議決定セリ（第一號乃同第四號ハ明治四十一年五月七日）  
第五號ハ同年四月二十九日省議決定

一 四十年度ニ屬スル一般會計ノ歲入（告知書ヲ發シタルモノ納入歳出三月三十一日迄ニ傳）ニシテ當該年度ノ出納整理期（歲入ハ六月三十日限）迄ニ收入又ハ支出ヲ了セサルモノハ總テ專賣局作業歲入歲出ニ編入整理スルモノトス但シ鹽專賣收入ニ付テハ此限ニ在ラス

二 四十年度ニ屬スル一般會計歲出ノ過誤拂ニシテ歲入ヘ納付ヲ要スルモノ及同上歲入ノ徵收洩ヲ四十一年四月一日以降ニ於テ發見シタルトキハ孰モ專賣局作業歲入トシテ收入スヘキモノトス但シ鹽專賣收入ニ付テハ四十一年度ノ會計整理期迄ハ尙ホ一般會計ニ依ル

三 四十年度ニ屬スル一般會計ノ諸拂戻及缺損補填金ニシテ四十一年四月一日以降ニ於テ拂戻ノ決定ヲ達シタルモノハ專賣局作業歲出ヨリ支出スヘキモノトス

四 四十一年四月一日以降發見ニ係ル三十九年度以前ニ屬スル歲入ノ徵收洩、歲出過誤拂ノ返納金及支出洩又ハ拂戻未濟ノ金額ハ總テ專賣局作業歲入歲出ニ編入整理スルモノトス但シ鹽專賣收入ニ付テハ四十一年度ノ會計整理期迄ハ尙一般會計ニ依ル

五 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第九條及第十六條各號ノ一ニ該當スルトキ徵收スヘキ追徵金ハ其ノ事實ノ發生カ四十一年四月一日以降ナルトキハ假令其ノ鹽ハ四十一年三月三十一日以前ノ賣渡ニ係ルモノト雖モ納入告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度ノ專賣局作業歲入トシテ收入スルモノトス該規則第十二條ニ該當スル追徵金ニ付テモ亦之ニ準ス

試驗場ニ於ケル歲入歲出其ノ他會計事務取扱方ニ付テハ別ニ左ノ如ク定メタリ

專賣局長官達丙第七六一五號（明治四十一年十月六日）

試驗場ニ於ケル歲入歲出其ノ他會計事務取扱方一般ノ規程ニ依ルノ外左ノ通心得ヘシ

從前ノ達及通牒等ニシテ此ノ手續ニ牴觸スルモノハ總テ之ヲ廢止ス但シ津田沼試驗場ニ於テハ現金前渡ニ關スル規定ハ之ヲ適用セス

一 試驗場ニ於テ雜收入ノ收入ヲ要スルトキハ專賣局長官名義ヲ以テ納入告知書ヲ發行シ

納入ヲシテ總テ金庫ニ納入セシムヘシ但シ歲入徵收官ノ印章ハ本局ヨリ送付スヘキニ

依リ場長之ヲ保管スヘシ津田沼試驗場ニ屬スル分ハ本局ニ於テ直接取扱ヲ爲スヘキニ

依リ該事項ノ生シタル都度執行ノ上之カ書類ヲ添ヘ申報スヘシ

二 津田沼試驗場ニ於テハ專賣局作業歲入取扱規程第九條ニ據ル徵收額整理簿ノ調製及徵

收報告書ノ提出ヲ要セス適宜ノ帳簿ヲ設ケ確定額、收入濟額、收入未濟額ヲ記帳整理スヘ



シ但收入濟額ハ本局ヨリ之ヲ通知ス

三 納入告知書ニ對スル金庫領收濟通知書ハ便宜試驗場ニ留置整理スヘシ

四 試驗場ニ要スル試驗費所屬ノ經費ハ別ニ指示スヘキ豫算額ノ範圍内ニ於テ適宜處辨シ  
(本局ヨリ物品ヲ送付スヘキモノハ除ク)送金仕拂ヲ要スルモノノ外ハ現金前渡ヲ受ケタル官吏ヲ置キ義務

委託ヲナシ引出切符ヲ以テ債主ニ仕拂ヲナスヘシ

五 豫算ノ配賦ヲ受ケタルトキハ各節ニ分配計畫ヲナシ其ノ金額ヲ申報スヘシ但シ各節ノ

金額彼此流用ヲ要スルトキハ事由ヲ具シ承認ヲ受クルヲ要ス

六 經費豫算ノ配賦ヲ受ケタル金額ハ豫算受拂整理簿ヲ備ヘ各節毎ニ口座ヲ分チ年月日摘

要、豫算額、仕拂額及殘額ノ各欄ヲ設ケ記帳整理スヘシ

七 試驗場ノ經費ニシテ本局ニ於テ直接仕拂ヲ要スルトキハ專賣局作業歳出取扱手續ニ據

ル支出票正副二通ヲ調製シ場長審査檢印シテ送付スヘシ

前項仕拂ヲナシタルトキハ本局ヨリ送付スヘキ仕拂濟通知書ニ依リ帳簿ノ整理ヲナス  
ヘシ

八 現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ請求スヘキ金額ハ每一箇月分ヲ豫定シ各節ニ區分シタル支

出票ヲ調製送付スヘシ但シ豫定シ難キ臨時必要ノ經費ハ期限ニ拘ハラズ隨時請求スル

ヲ妨ケス

九 現金前渡ヲ受ケタル金額ハ現金前渡受拂整理簿ヲ備ヘ各節毎ニ口座ヲ分チ年月日摘要

元受額、仕拂濟額及殘額ノ各欄ヲ設ケ記帳整理スヘシ

十 前渡ヲ受ケタル後其ノ金額カ實際仕拂ニ方リテ節ノ流用ヲ要スルトキハ前項ノ整理簿

十一 於テ記帳整理ヲナシ科目及流用増減額ヲ其ノ都度申報スヘシ  
 前渡金ノ内毎月仕拂濟額ハ目節ニ區分シ翌月五日限り報告スヘシ但シ回收額アルト  
 キハ之カ附記ヲ要ス

十二 仕拂證明規程ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ毎月提出スヘキ仕拂計算書ニハ場  
 長ニ於テ現金出納簿トノ符合及殘額現存ヲ確認セル保證書ヲ調製添附シテ本局ニ回  
 付スヘシ

十三 仕拂計算書及證憑書類ハ總テ袋綴トナシ之ニ契印スヘシ

十四 試驗場ニ於テ取扱フヘキ物品ノ出納命令ハ專賣局物品出納規程第四條但書ニ依リ場  
 長ニ之ヲ委任ス

十五 試驗場ニ於テ物件ノ賣買及借入ヲ要スルトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ヘキモノニ  
 限り場長ニ於テ決行シ其ノ他ノ場合ハ豫メ承認ヲ受クヘシ但シ物件ノ購買及借入ハ  
 豫算額以内ノモノニ限ル

十六 前各項ニ關シ專賣局作業會計總括計算整理ヲ要スルモノハ明治四十一年三月丙第二  
 ○九三號第三條ニ依リ毎日傳票ヲ取纏メ送付スヘシ

据置運轉資本不足額融通ニ關スル取扱順序ヲ左ノ通り定メラレタリ

大藏次官通牒官房秘乙第五一三號 (明治四十四年三月廿四日)

明治三十八年法律第十七號ニ依ル据置運轉資本不足額融通ニ關スル取扱順序別紙ノ通被定候條右ニ依リ御取扱相成度此段及御通牒候也

明治三十八年法律第十七號ニ依ル融通金取扱順序

第一條 明治三十八年法律第十七號第一條ノ規定ニ基キ專賣局及製鐵所据置運轉資本補足ノ爲メ預金部ヨリ借入ヲナシ又ハ大藏省證券發行ニ依リ融通ヲ  
 ナス場合ノ取扱方ハ本順序ニ依ルモノトス

第二條 理財局國庫課ハ毎年度初メニ於テ其ノ年度内ニ於ケル專賣局及製鐵所ノ据置運轉資本ノ不足見込額ヲ月別ニ調査スルモノトス

第三條 專賣局又ハ製鐵所ニ於テ据置運轉資本補填ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ金額所要月日、償還期限見込繰入ヲ要スル金庫等ヲ記載シタル請求書ヲ十日以前ニ理財局國庫課ヘ送付スルモノトス

國庫課ニ於テ前項ノ請求書ヲ受ケタルトキハ直チニ之カ調達ノ方法ヲ案シ大藏省證券ヲ發行スルモノト決定シタルトキハ其ノ手續ヲ行ヒ又預金部ヨリノ借入金ニ依ルモノト決定シタルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ付箋シ預金部ニ於テ融通ノ手續ヲナスモノトス

第四條 大藏省證券ノ發行ヲ要スルトキハ國庫課ニ於テ金額發行日、期限、日歩等ヲ定メ之ヲ國債局ニ通知シ國債局ニ於テ發行ニ關スル決裁及證券發行ニ關スル手續ヲナスモノトス

前項決定ノ上ハ理財局國庫課ニ於テ發行代金ノ受入及專賣局又ハ製鐵所會計へ融通金繰入ニ關スル國庫移換令達ノ手續ヲナスモノトス

第五條 預金部ヨリ融通ノ場合ハ其ノ時々償還期限ヲ定ムルモノトス但シ國庫ノ都合ニ依リ期限前ト雖償還スルコトヲ得

利息ハ借入ノ日ヨリ起算シ日割計算ヲ以テ付スルモノトス但シ其ノ利率ハ別ニ之ヲ取極ム

利子ハ毎年九月及三月ニ仕拂フモノトス但シ元金償還ノ場合ニ於テハ其ノ際仕拂フモノトス

第六條 預金部ヨリ融通ヲナストキハ理財局庶務課ニ於テ中央金庫ニ對シ預金運用部ヨリ國庫へ融通金ノ移換命令及預金運用部へ借用證書ノ受入命令ヲ發スル手續ヲナスモノトス

同局國庫課ニ於テハ中央金庫又ハ指定金庫ニ對シ國庫ヨリ專賣局又ハ製鐵所會計へ融通金繰入ニ關スル國庫移換令達ノ手續ヲナスモノトス

第七條 國債局ハ預金部ヨリ借入ヲナス場合ニ於テ指定期日ニ借用證書(様式ヲ調製シ中央金庫ヘ送付スルモノトス)

第八條 金庫ニ於テ第六條ノ命令ヲ執行スルニ當リテハ前條ノ借用證書ヲ第五條ノ規定ニ照シ調査スルモノトス

第九條 國債局ハ大藏省證券發行ノ場合ハ其ノ割引差額ヲ國債整理基金ヨリ拂出シ發行代金へ受入ニ關スル令達ノ手續ヲナスモノトス

第十條 國債局ハ利子仕拂期毎ニ利子額ヲ國債整理基金ヨリ拂出シ預金部へ繰入ニ關スル手續ヲナスモノトス

第十一條 專賣局及製鐵所ニ於テ大藏省證券又ハ預金部借入金ノ償還ヲナシ若ハ借換ヲ要スルトキハ第三條ニ準シ其ノ手續ヲナスモノトス

第十二條 前條ニ依リ償還又ハ借換ヲナス場合ハ第三條第二項第四條第六條第七條及第九條ニ準シ取扱フモノトス

### 尋テ融通金取扱順序中改正セラレタルモノノ左ノ如シ

大藏次官通牒官房秘乙第一六一八號 (明治四十四年十月二十六日)

本年三月秘乙第五一三號ヲ以テ明治三十八年法律第十七號ニ依リ融通金取扱順序及御通知置候處今般該順序第五條第一項及第六條ヲ左記ノ通改正候間此段及御通知候也

#### 第五條第一項

預金部ヨリ融通ノ場合ハ其ノ時々償還期限ヲ定ムルモノトス但シ專賣局又ハ製鐵所會計ノ都合ニ依リ期限前ト雖モ償還スルコトヲ得

#### 第六條

## 第十二章 會計

預金部ヨリ融通ヲナストキハ理財局庶務課ニ於テ預金部ヨリ專賣局又ハ製鐵所會計へ融通金ノ移換命令及預金部へ借入證書ノ受入命令ヲ發スル手續ヲナスモノトス

## 第二節 收入

鹽務局ニ於ケル收入事務ノ開始ニ際シ明治三十八年三月鹽務局諸收入收納取扱規程ヲ制定シ左ノ通訓令セラレタリ

大藏省訓令第三十二號 (明治三十八年四月一日)

鹽務局諸收入收納取扱規程

第一條 鹽務局ニ於テ收納スル諸收入ハ特別ノ規程アルモノヲ除クノ外此規程ニ依リ取扱フヘシ

第二條 鹽務局長ハ諸收入ヲ徵收セントスルトキハ十五日以内ニ於テ適宜納期日ヲ定メ各納入ニ對シ第一號書式ノ納入告知書ヲ發スヘシ

第三條 鹽務局長ハ其ノ所屬鹽務局出張所長ニ委任シテ諸收入收納事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四條 鹽務局出張所長ニ於テ納入告知書ヲ發シ又ハ鹽務官吏ニ於テ口頭告知ヲ爲シタルトキハ鹽務局出張所長又ハ鹽務官吏ハ第二號書式ニ依リ毎日其ノ調定額ヲ鹽務局長ニ報告スヘシ但鹽務局出張所在勤ノ鹽務官吏ノ報告ハ其ノ出張所長ヲ經由スヘシ

第五條 納入告知書ハ納入ヲシテ納金ヲ納付スルトキ之ヲ添附セシムヘシ

第六條 收入官吏ノ提出スル領收濟ノ報告書ハ毎日取纏メ之ヲ鹽務局長ニ送付スヘシ但鹽務局出張所在勤ノ收入官吏ノ通知ハ其ノ出張所長ヲ經由スヘシ